

Noam Toran The Reanimated Archive:

The KIT Museum & Archives viewed
through the folk tradition of Tsukomogami narratives

ノーム・トーラン

目覚める収蔵品——付喪神を通して見るアーカイブ



会期 | 2018年9月10日[月]——21日[金]
会場 | 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
開廊 | 10:00 - 17:00 (入館は16:30まで)
閉廊 | 9月15日[土]——17日[月・祝]
入館 | 無料

2018年度 KYOTO Design Lab デザイナー・イン・レジデンス・プログラムとして
ノーム・トーランと取り組んだ共同研究の作品展「目覚める収蔵品」を開催いたします。

映像作家のノーム・トーランは、京都工芸繊維大学 美術工芸資料館に
所蔵されているコレクションの背景に隠された
歴史的・文化的・個人的な物語をひも解き、
それらの新たな批評的解釈を可能にする映像作品を制作しました。

本展では、これらの作品を、
制作過程のリサーチ資料とともに展示いたします。
ぜひご来場ください。

**KYOTO
Design Lab**

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

主催=京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab、京都工芸繊維大学美術工芸資料館
http://www.d-lab.kit.ac.jp | Facebook: KYOTO Design Lab | Twitter: @kyotodesignlab
国立大学法人京都工芸繊維大学 | 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1 [地下鉄烏丸線松ヶ崎駅より徒歩10分]